

森下の大景品
付大賣出し
目茶苦茶の安賣金貳拾錢以上御買上の方に
大景品差し上げます
玩具、文具、糸類

金森下商店
屋敷まめ屋
平町二丁目

神戸海上運送保険株式會社
東洋海上火災保險株式會社
共保生命保險株式會社
平代理店

貸家部案内
北白銀町勤人向一〇、〇〇〇
同南白銀町同 一八、〇〇〇
仲間町同 一四、〇〇〇
内郷村小島同 一〇、〇〇〇
同同風呂場物置附八、〇〇〇
同同風呂場物置附八、〇〇〇
同同風呂場物置附八、〇〇〇
同同風呂場物置附八、〇〇〇
同同風呂場物置附八、〇〇〇
同同風呂場物置附八、〇〇〇
同同風呂場物置附八、〇〇〇

外科
外科一般
耳鼻咽喉科
男性病科
×光線科

赤心堂病院
田町 電話四七五番

看護婦派出所
の求めに應ず
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

謹むで休業
御大葬の敬悼の意を表し來る七日。八日の兩日謹んで休業仕り候
昭和二年二月五日

平町料理屋組合

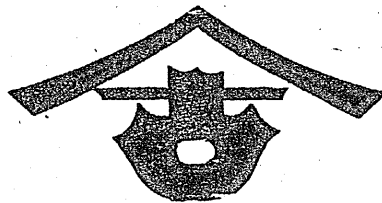
- 一日掛金十錢ツ、七圓マデノ品
- 一 全 金二十錢ツ、十五圓マデノ品
- 一 特製 眞中 爐カギ外銅壺南部物産品種々

南町廿九番地
販一手 **南部鐵瓶店**

練習社員募集
(男女不問相當學カアル人)
練習期間五十日手當支給
(本人履歷書持參面會日八日午前中)
常磐生命仙台支部平假出張所
所長 **柳原正春**
出張所 平町新藤屋本店內

原齒科醫院
平町土橋通り電話三一三番

標商錄登



醬油 味醂 酒類 罐詰 食品

製 造 問 屋

鹽屋山崎合名會社

電話 營業部一〇番
工場 二七番

印半天專門
優秀品の証明
草野染工場
電話三四八番
磐城 平町

平町實費病院
平町郵便局裏(電話五一五番)

年末年始の贈答には
アルミニウム食器を
關原商店
電話五百六十番

小兒科一般、内科、皮膚花柳病科(血液検査)
外科、婦人科、耳鼻咽喉科

公債株式の
御用命の節は
一應弊店へ
御照會願ひ升

株式
平町白銀町六番地
金樹商店
電話六五四番



日刊 發行編輯人 川崎文治
本社下町番地(電話六三〇番)
印刷所 常磐毎日印刷所

正 前金貳錢
一ヶ月廿錢
三ヶ月五錢
半年十錢
一年二十錢

廣告 五錢十二行
一文字一行
一週日
一週日
一週日
一週日
一週日
一週日

福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所 常磐毎日新聞社
電話六三〇番

常磐毎日新聞
禪の公案
木村正三郎

これはお前の如き偉物が親しく此處へ來たではないか
龍も潭も目前に現出したといふ意、徳山を半ばおだて半ば抑揚したもので、一言抑揚の妙を盡してゐます。こゝで徳山は又一本参りました。前には茶店の老婆に脚を拂はれて四ん這ひの醜體を演じ今また龍潭に出端を挫かれたのです、最う斯うなる腰が砕けて立ち直ることは出来ません。遂に兜を脱いで初見の禮を濟ませ

紙燭を受取らうとする途端に龍潭はフツト火を吹消して了つた。徳山ハット驚くと同時に猛然として何か大いに悟る所があつた、果して何をどう悟つたか、傍人の知る所でありませぬが、徳山としては紙燭を消されて再び闇黒裡の人となつたが、之が爲に心鏡の曇りはなごりなく拂拭されたのであります、そこで徳山は歡喜に満ちた有難涙を流して龍潭に感謝の拜をなし、其の翌朝を待つて彼が半世の寶物虎の兒のやうに大事にした金剛經の疏抄を法堂の前に持出し一炬に灰燼にしたといふ事です(つゞく)

久留島氏及び

安倍氏の講演は

今晚午後六時半から

会場にストロブ

既報久留島武彦。安倍季雄
兩氏の石城郡小名濱町に於
ける講演は昨日午後二時同
町小學校に於ける青年團總
會

席上に 行はる先

づ安倍氏の「使ふ者使はる
者」と題する講演に始ま
り約一時間半に亘り極めて
適切な例話を擧げられてヒ
ン／＼と聴衆の胸を叩き満
場水を打つたが如き静肅
さの中に説き去り説き來り
大喝采を博す、續いて久留
島武彦氏は「自己に直面し
て」の

演題の 下に得意の

快辯を揮はれ聴衆は全く心
酔して傾聴し頗る大なる感
動を興へ熱狂的な拍手を
浴ぶ、斯くて午後六時か
ら新米樓上に於ける鈴木町
長其他有志十數名の慰勞會

田畑が乾燥して

麥の發育頗る不良

加之に風の被害も少くない

農試石城分場の觀測

縣立農事試驗場石城分場で
調査した今年寒中の温度を
見るに昨年の平均温度に比
し寒中は五厘しか低くなか
つたが大寒に入りこの寒さ
は格別で平均温度は昨年よ
り三分三厘も低く例年にな

い寒さであつたがこの期間
中には雨量も非常に少く殊
に冬につきものである降雪
も殆どなく一月以降今日迄
の降水量は雨雪合せて坪當
り僅に一斗四升三合でこれ
こそ何年にもない少量で田

畑共に乾燥し過ぎ麥の成育
上非常に悪く殊に風強きた
め抜け出すもの多く見受け
られる故農家等は麥踏を怠

迷夢より醒めよと

會社側で熱心勸説

罷業團に疲勞の色漂ふ

警城炭礦の争議は四日も引
續き石城郡内郷村の綴坑は
罷業團の結束案外にたく
高坂坑は舊正月の三日で坑
夫達はいはゆる不淨日であ
ると休業するもの多く會社
側では迷ひの悪夢から醒め
よと坑夫長屋の女房達を説
きつけ四日午前六時には高
坂坑は平常の約三分の一
十餘名の坑夫就業した坑夫
組合側では四日午後から引
續き各坑夫長屋五ヶ所に會
社糾弾の演説會を開く等互
に宣傳戰を續けてゐるが何
れも疲弊の色漸く深刻にな
つて來たが會社側の態度は
ますます強硬で四日午後一
時から山元幹部會を開きこ
の際左傾分子を一掃しがん
の手術を行ふと語つてゐる

病院の繁昌

健康の生んだ珍現象

警城炭礦の争議が持久戦狀
態となつた一日頃から高坂
方面の坑夫間に感冒や腸カ
タルで醫療を求めもののが
日々二十三名づゝ増加し炭
礦病院の醫者はこれが診療
に忙殺され疾病を名として
休業中のもの四日現在二百
餘名あり右は健康保險が去
る一月から實施され病氣休
業に對しては日給の六割を
支給されるため輕微な感冒
位でも休業する傾向あり怠
業氣分が一層増加するも
ので健康保險の實施は間接
に罷業團に力を添へてゐる

川崎本社長

葬場殿參入

川崎本社長は七日の御大葬
に當り一木大葬使長官より
新宿御苑の葬場殿參入を許
可された爲め、今晚の準急
行にて上京し其序でを以つ
て水道問題の行政裁判を傍
聴し九日の夜行にて歸平さ
る、豫定である

大喪儀に付二月七日

當組合は弔意を表し謹んで休業仕候

平吳服商組合

日本料理には殆ど用ひられ
なかつたのであります、し
かし之は榮養上今後大に考
へなければならぬことで
あります。即ち果物にはす
べてビタミンを含み殊に
そのBとCを多量に含んだ
ものが多く脚氣だとか壞血
病を防ぎ血管硬化症を豫防
する効果があります。ズイタ



料理果物

お料理に果物を配すること
は食物の消化をよくし、又
榮養上大へんよいのであり
ますが、今迄我が國では大
概西洋料理にだけ用ひられ

載されて居るのであります
第十五條の第四の條項の詐
術に依り許可を受けたると
き若くは許可に錯誤ありた
るときは左の場合に於て
は許可の全部若くは一部を
取消し又は工事の變更中止
を命じ若くは許可條件を變
更又は増減することあるべ
し」と云ふ本文であります
然るに問題になつて居りま
す所の此水利權と云ふもの
はどうなつて居かと言ひま
すると云ふと茲に大正十三
年一月十四日であるが小田
炭礦株式會社は此水利權を
讓渡することを立派に決議
して居るのであります、念の
爲に朗讀致します「拜啓

大瀧問題縣會速記集

(六十)

井上氏の質
問演説續き
(參與員)半
井清君、私
は當時の事
情は詳しく
承知致しま
せぬが縣と
しましては
是は水利使
用規則に照
らして違反
したものでないかと考へて居
ります、尙ほ事實問題に就
きましては若し必要であり
ますれば詳細に尙詳しい者
から申し上げます

不得要領でありますから改
めて更に答辯を求めます、
今日は是にて保留して置き
ます
十一月卅日
二十九番(井上茂作君)本議
に入るに先立ちまして昨日
私の質問に對する内務部
長の答辯は不得要領であつ
たが爲に保留して置と云ふ
ことを申上げて置きました今
日は幸ひ知事が御見えにな
りますから質問を致したい
と思ひますどうぞ僅か時間
を御割愛願ひたいと思ひま
す、議長(鈴木重郎治君)宜
しうございませう、二十九番
(井上茂作君)先日私は大瀧
發電所と平町の水道問題に

付まして質問しました所が
昨日は御不快と云ふことで
ありまして御出席がなかつ
た代つて内務部長の御答辯
がありましたたが數項に分ち
まして質問したに拘らず甚
だ不得要領であつたと云ふ
ことを遺憾に存する者であ
ります、今茲に改めまして
御答辯を得たいと存じます
のは本縣の水利使用規則の
運用であります、縣令第三
十三號を以て發布されまし
たる水利使用規則なるもの
が私は撤廢されて居ないと
考へて居る然らば此規則に
依て取締をしなければなら
ぬ筈である、此規則の第十
五條には斯ふ云ふことを記

載されて居るのであります
第十五條の第四の條項の詐
術に依り許可を受けたると
き若くは許可に錯誤ありた
るときは左の場合に於て
は許可の全部若くは一部を
取消し又は工事の變更中止
を命じ若くは許可條件を變
更又は増減することあるべ
し」と云ふ本文であります
然るに問題になつて居りま
す所の此水利權と云ふもの
はどうなつて居かと言ひま
すると云ふと茲に大正十三
年一月十四日であるが小田
炭礦株式會社は此水利權を
讓渡することを立派に決議
して居るのであります、念の
爲に朗讀致します「拜啓

本月二十九日午後正一時平
町字紺屋町住吉屋本店内に
於て左の事項御決議を得度
定時株主總會相開き候間御
出席相成度此段御通知申上
候也其決議事項は第一項は
無論決算の承認並に損益の
社 告
七八の兩日御大葬に當る
爲め本社は敬弔の意を表
して休刊す
常磐毎日新聞社
處分と云ふことでありまし
たが第二項の株式會社平電
氣企業社へ好間川水利使用
權の讓渡に關する件と云ふ
ことを以て株主に通知して
居るのである、